

平成28年9月27日(火)に唐竹小学校保護者との意見交換会で寄せられた意見は下記のとおりです。

内 容
<p>市からの説明内容や日程等について、保護者目線になって保護者の事情を考えていただけませんか。</p> <p>回答:2月の報道について市側と保護者側と見解の相違があったことについてお詫び申し上げます。この統合検討は子どもたちのよりよい教育環境づくりのためでありますので、ご協力をお願いいたします。日程等についてはより多くの保護者の方に参加していただきたく設定いたしました。市側の認識の甘さから保護者様にご迷惑をおかけするになりました。何度か意見交換会を開くことにより多くの意見をいただけたらと思います。</p>
<p>統合するメリットよりも、小規模校である唐竹小学校のメリットをいかしていけないでしょうか。</p> <p>回答:小規模校の良さをいかしつつ中規模校の良さをいかにせる学校を、保護者の方のご協力のもと案を作り、その案と現状を比較していただきたいと思います。</p>
<p>今回の検討を通してどの様な結論をお考えでしょうか。また、ある程度の道筋や状況を提示して説明していただけないでしょうか。</p> <p>回答:現在、検討委員会では、想定図を考えたり、メリットデメリットを考える段階まで進んでいないため、道筋等を提示することは出来ません。今は保護者の方の誤解をとくことを優先し、説明させていただいております。</p>
<p>市長が今回の統合は市の財政と関係ないと言いましたが、過去の教育委員会の話や公共施設の話を開くかぎり、関係があると思いますが、どうお考えですか。</p> <p>回答:現在の統合問題は、市の財政問題とは関係ありませんが、将来的に、市内全小学校の建替えは出来ない財政状況になると考えています。ただしこれは豊明市に限った問題ではなく、日本全体の問題となります。そういった観点から、統合は必要になると考えています。</p>
<p>新しい学校を設立を検討していただけないでしょうか。</p> <p>回答:今後の人口の増減、近隣の市町との兼ね合いを加味し、市の財政負担を考える必要がある中で、この場ではお答えできかねますが、子どもたちの教育に比重を置く考えはあるということをお伝えしたいと思います。</p>
<p>統合のデメリットは何を考えていますか。</p> <p>回答:一つ目は通学路です。二つ目は児童が全体の前で何かをする機会が今より減ることです。三つ目は担任の先生以外の先生が児童と接する機会が減ることです。</p>
<p>統合した後の学校と今の学校を様々な面から比較した具体的なビジョンを提示して下さい。</p> <p>回答:統合するかしないかの結論もこれから話し合っていくので、具体的なビジョンはこれから提示していく形になります。</p>
<p>こういった形(統合・存続)の意見を言えいいでしょうか。また、双峰小学校の保護者の意見を示していただけますでしょうか。</p> <p>回答:今の段階では市の方は統合・存続の結論を出していない状況で、今回は現状を説明することしか出来ません。今後、比較検討できる状況でアンケートをとり、説明・意見交換を行っていく必要があると考えています。</p>

市内の一番大きな中央小学校など他の学校から統合問題を着手する選択肢はないのですか。統合しない場合の補助教員増加などのよりよいビジョンも見せていただけませんか。唐竹・双峰の統合だけでなく、市全体の小学校で考えることは出来ませんか。

回答: 中央小学校については、平成24年の時点で学区再編か増築かを検討し、増築という結果になりました。補助教員の増加は現状のままでは難しい状況です。唐竹小学校が全学年1クラスであり、学級の再編ができないため、今回の検討になっています。

今回人間関係の固定化を防ぐのも統合のメリットの一つとなっていますが、将来的に小中一貫教育校を目指したいとのことで人間関係の固定化が発生する矛盾が生じると思いますが、どの様にお考えでしょうか。

回答: 小中一貫教育校ではクラス替が前提であり、そこで人間関係の固定化は防げます。また、小中一貫教育校は小学5、6年のうちに中学の学習内容の準備が出来るのを目的としているため、学校の場所や施設のことでなく、教育内容のことを言っています。

今回の意見交換会で市側の教育への熱意は感じ取れましたが、結局のところ財政の問題が大きいと感じました。

WHOの基準では100名以下が理想の学校人数だと公表されており、小規模校の推奨をしていますが、それでも統合を進めるお考えでしょうか。

子どもたち(在校生、卒業生両方)は自分たちの学校がなくなることには反対しています。

## 双峰小学校PTA役員との意見交換会での意見

平成28年9月15日(木)に双峰小学校PTA役員との意見交換会で寄せられた意見は下記のとおりです。

内 容
<p>唐竹小学校は全学年1クラスのままですか。他の学校はどうですか。</p> <p>回答:現在の推計では、唐竹小学校は1クラスのままです。大宮小は児童数が増える見込みで、館小は2クラスで推移する見込みです。</p>
<p>双峰小の保護者は、今は、唐竹小の児童が双峰小に通うことになると思っているため、危機感等は持っていません。唐竹小学校保護者は反対といわれますが、クラス替えのない学校では、切磋琢磨ができないのではないのでしょうか。</p> <p>回答:唐竹小学校保護者の方が反対されていた理由として、新聞報道があったときに、すぐに説明をしなかったことで、不安が大きくなってしまったことがあります。現在、意見交換会等で、唐竹小が双峰小に統合されると決定しているわけではないことをお伝えしていったところ、これまでのような全面的な反対ではなく、教育が充実するのであれば賛成する保護者もいらっしゃる聞いております。</p>
<p>学校を統合するとなると、学校が遠くなり、通学路に危険箇所が増える人もでます。危険箇所の対策はどうなりますか。また全市的な学校区の変更等がありますか。学校を選択制にすることはできませんか。</p> <p>回答:今は双峰小と唐竹小の統合のみを考えていますが、統合することになった場合、子供たちのことを一番に考えて通学路の安全等は見直しをすることになります。また学校区等の変更については、検討課題のひとつとなるかと考えます。現状の道路等の危険箇所は、区長に要望をしていただくようにお願いします。</p>
<p>教育の充実としての補助教員について、どのようになりますか。</p> <p>回答:現在各学校に1名ですが、統合した場合、各学年に1名配置できる程度の人数に増やすことができます。特別支援員についても、統合しても現状の人数が配置できます。ただし、補助教員の担当科目や配置については学校で検討していただくことになります。</p>
<p>現状の各学校の補助教員の人数をみると、本当に資料どおりの人数が配置されるのか心配です。</p> <p>回答:統合した場合には、統合によって浮いた市費での配置をお約束します。モデル校としての配置のため、成果があれば、他の学校への配置も考えていきます。</p>
<p>補助教員の配置について、成果が出なかったらどうなりますか。</p> <p>回答:一般的には教員が増えれば学力の向上につながると考えられていますが、そういった点も含めモデル校として検証していきます。</p>
<p>15～20年先に建物を建て直すという話がありましたが、統合をする際に新しく校舎を作るという考えはありますか。</p> <p>回答:まだ使用できる建物を取り壊すことは長期的に市政を考えると難しいため、どちらかの校舎になると考えます。</p>
<p>15～20年先に建物を建て直す場合、場所はどこになりますか。</p> <p>回答:市街化区域なので、現在の場所に立て直すことになる可能性が高いです。</p>

統合された学校の校舎等はどうなりますか。

回答:別の目的の施設に転用することになるかと思われます。

今回の統合の話は、全学校の将来的な人数を見て、双峰小と唐竹小の統合の話になったのでしょうか。現状では大宮小の児童数が少ないのですが。

回答:全学校の児童数の推移を把握しております。他の小学校は2クラス以上で推移する見込みです。

双峰小と唐竹小が統合の対象校として選ばれた理由は何ですか。

回答:現在の児童数及び将来的な児童数の見込が少ないことと、互いの学校の距離が近いこと、また学校のキャパシティがあり統合が可能であるためです。

双峰小が唐竹小に統合される場合もありますか。

回答:あります。

双峰小保護者は、唐竹小が双峰小学校に統合されると思っているため、関心が薄いです。意見交換会でしっかり説明してほしいと思います。

統合した場合、児童クラブや放課後子ども教室は、学校内で継続できますか。

回答:できると考えていますが、もう一つの学校に設置することや、現状の学区のまま残すこともあるかもしれません。

統合は、市の予算を減らすためとのうわさがありますが、そんなことはなく、2校分の予算がそのままくるのでしょうか。

回答:そのまますべて配分することはできませんが、モデル校として他の学校より強化した予算にする予定です。

以前にも何度も統合の話があり、消えています。そのため、今回の統合の話も、双峰小保護者はあまり信じていません。以前のアンケートの結果等はどうになりましたか。

回答:以前のものは市全体の学校区再編に関するものでしたので、今回の統合の話とは関連はないと考えてください。

統合のデメリットは何ですか。

回答:一般的には、統合される児童の心理面の問題や、通学路の変更等がデメリットだと考えられます。また、児童数が少ないと先生がすべての児童の顔と名前を把握しているというメリットが、統合するとデメリットに感じられるかと思われます。

1学年1クラスでは何がいけないのでしょうか。

回答:中学校に上がったときのクラス編成において、友人がクラスに少ないときのとまどいが大きいです。子どもにもよりますが、小学校で経験をしたほうが良いと思われます。

## 双峰小学校保護者との意見交換会での意見

平成28年10月3日(月)に双峰小学校保護者との意見交換会で寄せられた意見は下記のとおりです。

内 容
<p>メリットの提示はありますが、デメリットは何ですか。</p> <p>回答:一番のデメリットは通学時間、距離等が増える児童がいることです。次に児童数が増えることにより、全校、学年規模で、代表の役割を担うことができる児童の数は減ります。3つ目は校長先生等が全児童の名前を覚えることが難しくなります。ですが3つ目は、小学校は担任が児童に一番向き合うことになるので、それほどのデメリットとは考えておりません。</p>
<p>指導体制について、教員補助等について内訳を教えてください。</p> <p>回答:配置については、学校長がきめることになります。教員補助の4人分は市費での補助となります。養護教諭は、本来、統合すれば1人になりますが、統合ということで子どもたちの心のケアも必要になる、さらに給食等でもアレルギー等が増えており食育も必要と考えられますので、市費で2人にします。日本語指導員については、日本語指導が必要な児童の人数に合わせて県費で派遣されるのですが、統合することにより、4人の派遣となります。</p>
<p>大規模校は、校長先生の目が行き届いていないのでしょうか。行き届いてないとしても、それはデメリットなのでしょうか。</p> <p>回答:市としては、あまりデメリットとして考えていませんが、唐竹小の保護者の一部はデメリットとして捉えているため、あげさせていただきました。</p>
<p>通学のデメリットですが、どれくらい通学時間が増えるのですか。他の学校に比べると、双峰小、唐竹小は短時間だと思いますが。</p> <p>回答:現状との比較で、通学時間が増えると考えています。また、統合することになった場合、保護者の意見があれば、学区の変更も検討します。</p>
<p>今回の意見交換会は開催時間が良くないことと、急に開催されたため、参加者が少ないのが残念です。今後、意見交換会はどのように開催していくのですか。また、統合の話は以前にも出ていますが、その話はどうなっているのですか。今後どうなっていくのか、先が見通せず、不安に思っています。</p> <p>回答:以前に、全小学校を対象とした学校の再編が協議されたときは、再編をしないとの結論となりました。今回は、文科省から出た提言に基づき、今の児童にとって、よりよい学校環境を提供するために検討をしています。今後の意見交換会は、地域の住人の方のご意見も聞くこととしています。意見交換会で出た意見を検討委員会で練ってもらい、現在の学校と比較をしながら、デメリットを解消するための話し合いを積み上げて、統合に関して検討していきたいと考えております。まずは統合後の小学校の青写真を作り、検討していきます。</p>
<p>学校は地域の拠点となっていますが、統合した場合、防災などのことはどうなりますか。</p> <p>回答:地域の拠点、避難場所としての役割はそのまま維持します。学校ではなくなった場合、地域への開放がしやすくなります。</p>
<p>双峰小学校区では外国籍の人はどれくらいの割合でいますか。また、他の学校はどれくらいですか。</p> <p>回答:双峰小での外国籍の児童の割合の数字は今わかりませんが、市内には102名の外国籍の児童がいます。双峰小にはそのうちの43人がおり、ブラジル籍の児童が一番多いです。そのため、双峰小には通訳が多く配置されています。</p>

クラスの人数が増えると担任の目が行き届かなくなりやすいです。豊明市独自で1、2年生以上も35人学級にすることはできませんか。

回答:クラス人数の変更は、すべて市費での対応になり、国からの補助金も減額されるため、市としては、負担が大きすぎるので、大変難しいです。そのかわり、市費で教員補助を増やすことにより、すべての児童に目が行き届くようにすれば、小規模校の良いところを活かした、中規模校になると考えています。

全校児童数が多いと、プールなどの設備を使った授業日数が少なくなるというデメリットがあると聞きました。ただ、部活動は人数が少ないことで、チーム編成等が、厳しいです。

回答:統合すれば、クラス数が増え、運動場とかの設備の使用できる時間が今よりは少なくなるかもしれませんが、部活動やPTA役員の選出などは、人が増えることにより、やりやすくなるのではないかと思います。先生についても、小規模校だと人数が少ないため、何役も兼ねていたり、出張がしにくいなど不便があるため、ある程度の規模は必要だと思われます。

統合の結論を出す時期は、今現在は設定されていますか。

回答:設定しておりません。ただ、2年以上とかの長期での想定はしていません。もともとの目途は1年でした。

目途として1年とのことですが、アンケート等もその間に実施される心積もりでよろしいですか。

回答:アンケートは、場合によっては何回か行うかもしれません。

アンケートはどの範囲で実施するのですか。保護者だけなのか、未就学児がいる家庭にも実施するのでしょうか。また、卒業生にも実施しますか。

回答:アンケートの範囲、質問は検討委員会で検討しますが、少なくとも現在の保護者、未就学児の保護者の皆様には実施いたします。それ以上については、検討委員会で検討することとなります。

1年半から2年で結論を出すとのことですが、アンケートはいつやるのでしょうか。

回答:11月の上旬には検討委員会で内容を検討し、年内にはアンケートを実施する予定です。その後、アンケートの内容が集約できれば、検討委員会で答申に向かって進めていきます。

企業ならスピードをもって進みます。長い期間、保護者に不安な思いをさせたくないのであれば、今後のスケジュールをお聞かせ願いたい。

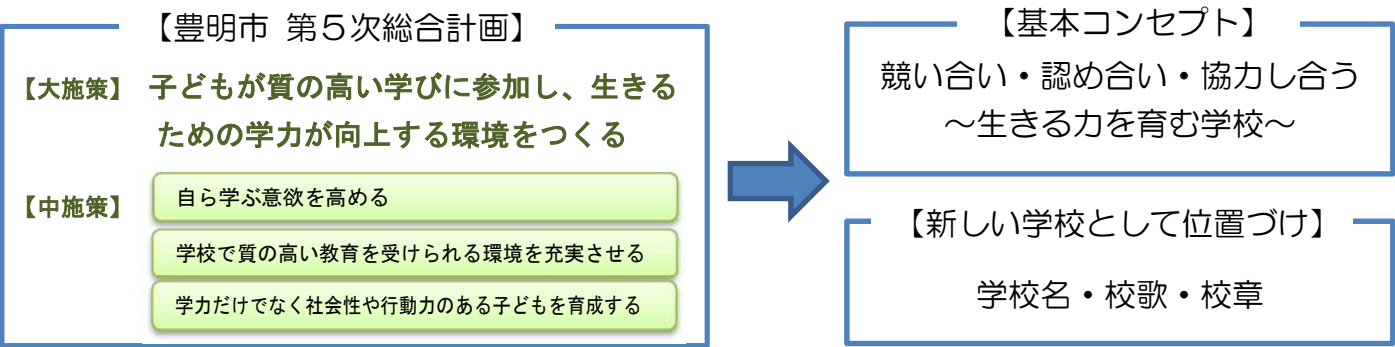
回答:企業同士のM&Aなら、トップの意向を持ってできますが、この件は、皆様のご理解をいただいた上で進めていきたいこと、また唐竹小では、噂による誤解を解くため、これまで意見交換会を2回開いていることから、時間がかかっています。しかし春日井市では3校の小学校統合に3年かけたこと、県教育委員会に相談したところ、通常でもそれぐらいかかるということです。双峰小、唐竹小学校の統合検討は、以前にも統合の検討があり、ある程度理解していただいていると考えられるため、2年ぐらいの検討と想定しています。

意見交換会の案内が遅かったです。みんな、統合に関して関心があり、スケジュールをやりくりして出席しているのも、もっと早く案内がほしいです。また、開催の時間設定が遅いと思います。学校行事後のほうが、参加しやすいです。



1 統合する小学校の基本コンセプト

豊明市の全体計画である第5次総合計画に基づいて、統合する小学校の基本コンセプトを定めます。



2 児童数とクラス数

双峰小学校と唐竹小学校の統合後の児童数とクラス数の見込みは次のとおりです。1クラスあたりの人数は、学年によって異なるため、0歳～2年生までは、クラス数をそれぞれ記載しています。

(調査日：平成28年4月)

	0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級
クラス数	低学年 3	中学年 3	低学年 3	中学年 3	低学年 3	中学年 2	低学年 3	中学年 3	低学年 3	中学年 3	低学年 3	中学年 2	低学年 3	中学年 2	2	2	2	2	2
人 数	91	84	71	81	81	73	74	75	73	73	62	79	7						

※ 低学年（1～2年生）は1クラス35人、中学年（3～6年生）は1クラス40人で計算

3 現在の学校の姿と統合後の姿

【現在の姿】

(1) 人間関係

- 子ども同士が顔なじみで、校内ではまとまりやすく、お互いの性格をよく理解し、学校生活を送ることができる。
- 多くの教員が、すべての子どもたちと関わることができ、アットホームで和やかな雰囲気为学校環境ができる。

(2) 教育環境

- 時間をかけた丁寧な指導ができる
- 集団としてまとまりやすい。
- 運動会、学習発表会において、子どもたちがそれぞれ何らかの役割を担い、行事への参加意識が高まる。

(3) 学校運営

- 教員同士での情報共有を密に行うことができる。

【統合後の姿】

(1) 人間関係

- 多くのともだちや先生にめぐり合うことにより人間関係が豊かになるとともに、コミュニケーション能力が向上する。
- クラス替えにより、人間関係の固定化を防ぎ新たな価値観、学習意欲、競争心などを活発にできる。

(2) 教育環境

- 学級数が増えることにより、学校全体に活気が生まれる。
- 運動会、学習発表会、部活動などにおいて、一定規模の集団による多様な活動が可能になる。

(3) 学校運営

- 教員数が多いため、多様な教育活動に対応ができる。また、円滑な学校運営と児童の安全を確保できる。

4 ソフト面の整備案

市の負担により、教員補助や養護教諭などの職員を増やし、統合後は、より質の高い授業を行います。

【職員配置案】

常勤県教員	双峰	唐竹	統合後
校長	1	1	1
教頭	1	1	1
教務主任	1	1	1
校務主任	1	1	1
養護教諭	1	1	1
学級対応	12	7	16
日本語教育	2	1	4
計	19	13	25

+

【案1】教員補助と養護教諭増員

非常勤市職員	双峰	唐竹	統合後
教員補助	1	1	6
特別支援員	3	2	5
養護教諭	0	0	1
日本語教育	5	2	7
計	9	5	19

職員配置案については、別紙に記載

→

【授業内容案】

(1) チームティーチング・習熟度少人数学習

教員補助やALTの増員により、担任と補助教員の2人1組で授業を行うチームティーチングを充実させる。

また、授業の内容によっては、クラスを2つに分けて、習熟度別に少人数学習を行う。

チームティーチング授業案については、別紙に記載

(2) IT学習

各学校のIT機器を集約することにより、より柔軟に授業への利用が可能

機材	設置内用
大型テレビ	各クラス1台+理科室+音楽室
タブレット	90台
電子黒板	1階・2階に配置

(3) イングリッシュエリア

外国人英語教員を常駐させ、低学年から英語に触れ合う機会をつくる。

(4) 定住外国人向け初期日本語教室

定住外国人向けに、初期の日本語教育を受けることができる専用教室を作り、NPO法人による日本語授業を実施。

(5) 部活動

専門の指導員を派遣。また、地域の方による指導体制も構築。

5 ハード面の整備

項目	既存教室の床・内壁改修 ※	電子黒板	タブレット（ソフト含む）
	トイレの改修 ※	手洗場の改修 ※	外壁塗装 ※
	新しい机やいす	通学路の防犯灯やカラーペイント	

※ 整備費用の1/3は、国の補助があります。

## 職員配置とチームティーチング案

## 1 職員の配置案

## (1) 県の常勤職員配置

県の常勤職員は、児童数及び学級数に基づき配置されます。

常勤県教員	双峰	唐竹	統合後
校長	1	1	1
教頭	1	1	1
教務主任	1	1	1
校務主任	1	1	1
養護教諭	1	1	1
学級対応	12	7	16
日本語教育 ※	2	1	4
計	19	13	25

※ その年度の「日本語教育を必要とする児童数」によって変動します。

## (2) 市の非常勤職員配置

統合後の学校においては、質の高い教育を行うために、市の負担により教員補助などを増員させます。どのような職員を増員するかについて、次の3案を例示します。

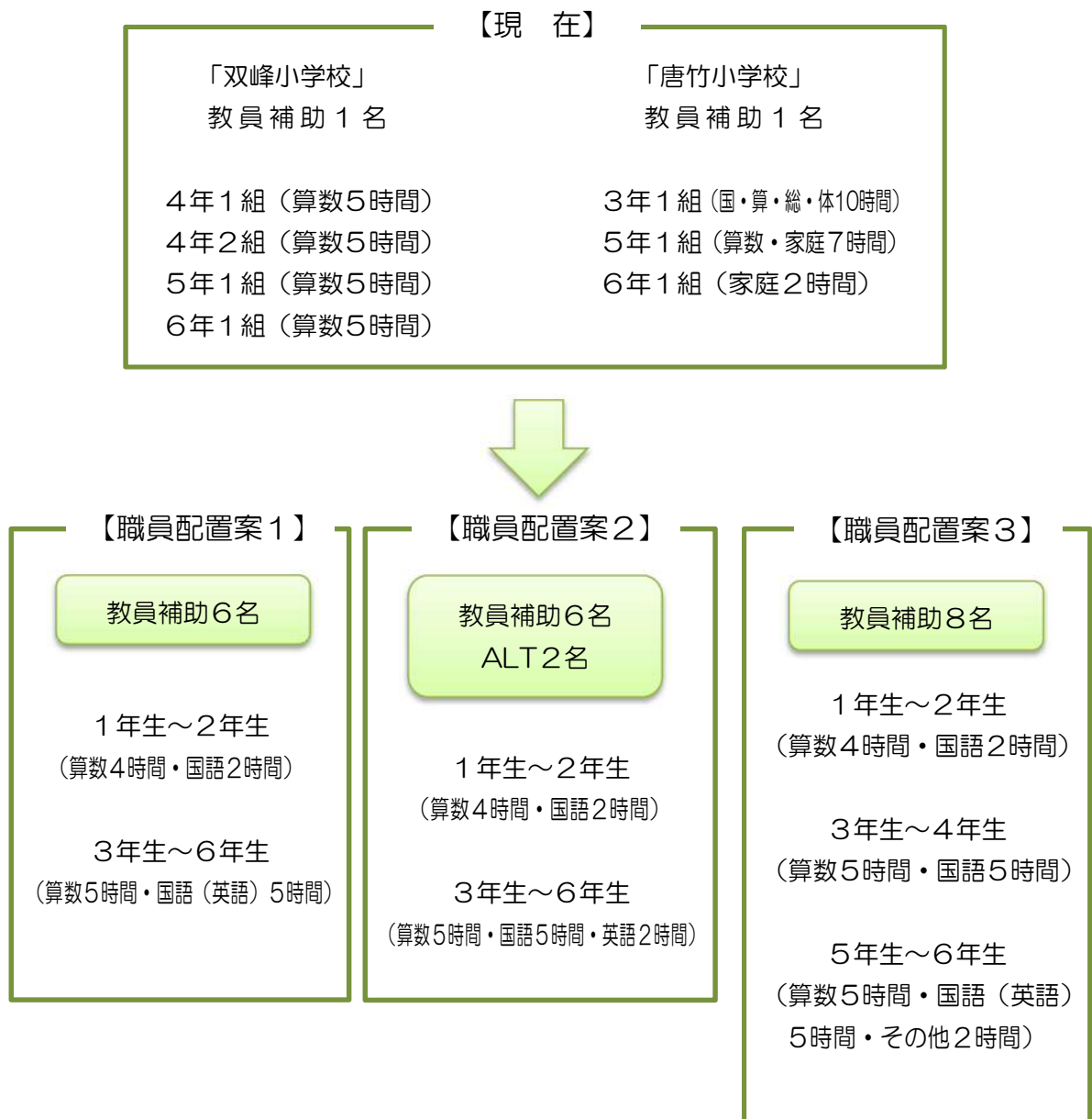
非常勤市職員	現 状		案1	案2	案3
	双峰	唐竹			
教員補助	1	1	6	6	8
特別支援員	3	2	5	5	5
養護教諭	0	0	1	0	0
ALT（外国人英語教員）	0	0	0	2	0
日本語教育	5	2	7	7	7
計	9	5	19	20	20



## (2) チームティーチング・習熟度別少人数学習案

教員補助を増員することにより、算数や国語などの主要科目において、担任と補助教員の2人1組によるチームティーチングを現在より多く行うことができます。

また、算数や国語の内容に応じて、クラスの中で習熟度別に2つのグループに分けて、担任と補助教員による少人数学習を行っていきます。なお、チームティーチングと習熟度別少人数学習は、授業の内容に応じて柔軟に選択していきます。チームティーチングの時間数等は、職員配置案1～3に次のような時間が想定されます。



## 統合検討委員会の今後のスケジュール案

2016/11月	2016/12月	2017/1月	2017/2月	2017/3月	2017/4月	2017/5月	2017/6月	2017/7月	2017/8月	2017/9月	2017/10月
	☆ 統合検討委員会 (アンケート検討)	☆ 統合検討委員会 (アンケート実施)		☆ 統合検討委員会 (アンケート報告)		☆ 統合検討委員会 (アンケート分析)	☆ 統合検討委員会 (答申案審議)	☆ 統合検討委員会 (答申)			
	☆ 唐竹小意見交換会	☆ 唐竹小意見交換会		☆ 唐竹小意見交換会		☆ 唐竹小意見交換会				☆ 唐竹小説明会	→
☆ 統合イメージ具体化			☆ アンケート実施	☆ アンケート集計							
	☆ 双峰小意見交換会	☆ 双峰小意見交換会		☆ 双峰小意見交換会		☆ 双峰小意見交換会				☆ 双峰小説明会	→

- 28 年 度
- (1) 今後は、まず事務局にて統合イメージを具体化します。
  - (2) 具体化したイメージから各小学校の意見交換会を行います。
  - (3) 続いて、アンケートについて検討委員会で検討していただきます。
  - (4) 検討委員会の結果から事務局にてアンケート案を作成します。
  - (5) アンケート案について、検討委員会にて審議していただきます。
  - (6) アンケートの実施について、各小学校で意見交換会を行います。
  - (7) アンケート実施し、集計をします。
  - (8) 統合委員会及び各小学校の意見交換会にて、アンケート結果を報告します。
- 29 年 度
- (9) アンケートについて、事務局で分析した結果を検討委員会にて審議していただきます。
  - (10) 検討委員会にて統合の可否を審議し、答申案を検討していただきます。
  - (11) 検討委員会にて答申案を修正し、答申をしていただきます。
  - (12) 各小学校にて説明会を開催します。